

点鼻型 インフルエンザワクチンについて

Q + A



イギリスでは2～6歳のお子様を対象に点鼻型インフルエンザワクチンの接種がすすめられています
が、このワクチンそのものは2～17歳までの方に接種が可能です。

Q 点鼻ワクチンについて、詳しく教えてください

A ワクチンの名前はFluenz Tetra (Astra Zeneca社)といい、生ワクチンです。(生ワクチン:イン
フルエンザの原因となるウイルスの毒性を弱くしてつくられるワクチン) 4種類のウイルスに
対応しています。

左右各鼻腔に1噴射ずつ点鼻しますが、接種回数は9～17歳が1回、2～8歳は1回もしくは2回
となります。(過去にワクチンを接種したことがあるか、インフルエンザにかかったことがある
か、によって回数が異なります。)

Q 点鼻型ワクチンの利点がありますか？

A 痛くなく、あっという間に終わるため、子供が嫌がらないという利点があります。また、小さい
お子さんの場合、注射ワクチンに比べて点鼻ワクチンの方が効果があるとされています。

Q 副作用はありますか？

A 副作用が起こることはありますが、大抵は軽くて済みます。主な症状は、鼻水、鼻づまり、食欲
減退、頭痛、倦怠感などです。まれに発熱、筋肉痛を伴うこともあります。(当院ホームページ最
新情報、問診表・副作用のページをご覧ください。)

Q 点鼻ワクチンを接種できない場合がありますか？

A 免疫不全の方、以前に同ワクチンでアナフィラキシーショックになられた方、ステロイド服用
中の方は接種できません。その場合は、注射ワクチンの接種を検討されるとよいでしょう。

また、接種当日に体調が悪い場合は、接種が延期になることもあります。